

## 10N020\_乳\_HP-wPTX

Pertuzumab ( Day 1 ) + Trastuzumab ( Day 1 ) + PTX ( Day 1・8・15 ) 4週毎

◆ \_\_\_\_\_月\_\_\_\_\_日 (Day1) から \_\_\_\_\_ コース実施。 ( 外来で実施 ・ 入院で実施 )

◆ アルコールに対する過敏症はありませんか？ → ( 有 , 無 )

Rp. 商品名	用量 [ 基準量 ]	投与方法	Day 0	1	2	3	4	5	6	7
1 生食注 ( 50mL )	1 瓶	div / フラッシュ		●						
2 生食注 ( 250mL ) パージェタ静注	1 袋 _____ mg [ 初回 840mg/body ]  _____ mg [ 2回目以降 420mg/body ]	div / ※1 1hr		○						
3 生食注 ( 50mL )	1 瓶	div / ※2 1hr		●						
4 生食注 ( 250mL ) トラスツズマブBS点滴静注用	1 袋 _____ mg [ 初回 8mg/kg ]  _____ mg [ 2回目以降 6mg/kg ]	div / ※3 1.5hr		○						
5 生食注 ( 50mL )	1 瓶	div / フラッシュ		●						
6 生食注 ( 100mL ) デカドロン注射液1.65mg ガスター注射液20mg ボラミン注5mg	1 瓶 5 A ( 初回 ) ※4 1 A 1 A	div / 15min		●				● Day 8 / Day 15		
7 生食注 ( 50mL )	1 瓶	div / 30min		●				● Day 8 / Day 15		
8 生食注 ( 250mL ) パクリタキセル注	1 袋 _____ mg [ 80mg/m2 ]	div / 1hr		○				○ Day 8 / Day 15		
9 生食注 ( 50mL )	1 瓶	div / フラッシュ		●				● Day 8 / Day 15		

※パクリタキセル注投与時には、0.22ミクロン以下のメンブランフィルターを用いたインラインフィルターを通して投与すること。  
また、点滴用セット等で溶解液が接触する部分に、可塑剤としてDEHPを含有しているものの使用を避けること。

※1 パージェタ注は初回60分で投与。忍容性が良好であれば30分で投与可。

※2 パージェタ注後の生食注は初回60分で投与。以後、医師の判断で30分に短縮可。

※3 トラスツズマブBS注は忍容性良好であれば、初回 (1.5hr), 2回目 (1hr), 3回目以降 (30min) で投与可。

※4 デカドロン注は医師の判断にて減量。(最低1Aは必要。)